

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	35c-1	調査位置				北緯	36° 44' 44.0000"				
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2007-09-20 ~ 2007-09-24		東経	139° 30' 50.0000"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ	ア	ボーリング責任者				
孔口標高	1074.10 m	角		方		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー	落下用具
総掘進長	11.10 m	度	0°	0.00°	鉛直	90°	20.00°	エンジン		ポンプ	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取			室内試験	掘進月日		
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量			N	値	深度			試験番号	採取方法
													0	10	20										
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)	10	20	30	(cm)									
1					盛土(砂礫) (BS)	暗茶褐			[0.25]砕石・砂・礫・アスファルトガラが主体の盛土。下部ローム質土が混入する。			1.15				14									
	1072.70	1.40	1.40									1.45	6	5	3	14	30								
2					礫混じりローム (-G)				[2.39]火山砂・径2～10mm程度の礫が混入するローム質土。 [3.97]GL-3m以深軽石がやや多く混入し、礫の混入が少なくなる。 [5.56]含水・粘性中位。			2.15	1			1	37								
												2.52					37								
3												3.15	1	1		2	33								
												3.48													
4						暗褐～赤褐						4.15	1	1	2	4	32								
												4.47													
5												5.15	1	1	3	5	32								
												5.47													
6												6.15		2	1	4	30								
	1067.25	5.45	6.85									6.45	1												
7					細砂 (FS)	明茶褐			[7.18]若干ロームが混入する火山灰質の細砂～粗砂。含水中位。			7.15	1	1		2	32								
												7.47													
8					中硬岩 (MR)				[8.60]やや硬質な安山岩質溶岩。全体に割れ目の発達が顕著で、部分的に集中して砂礫状コアを呈する。			8.15	50			50	5								
	1066.00	1.25	8.10									8.20													
9												9.00	50			50	0								
						灰褐						9.00													
10												10.00	50			50	3								
												10.03													
11												11.10	50			50	0								
	1063.00	3.00	11.10									11.10													